

地 域	丹波	日 付	10/22 (木)	人 数	17 人
参加者	丹波青年会議所				
<b>主な意見</b>					
<p><b>(丹波は“しっかり”田舎)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三田から丹波に引っ越す予定だが、三田は中途半端な田舎で、丹波は“しっかり”田舎である。このしっかり田舎である丹波の良さを残して発展させたい。</li> <li>・外から見れば、田舎の広い庭でゆったり過ごすことに大きな価値があり、そのような生活が丹波ではできる。</li> </ul> <p><b>(オンラインでは提供できない丹波のものづくり)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナでオンラインが広がりつつあるが、リアルでしか提供できないものがある。例えば、丹波産のまつたけは丹波でとれるから意味がある。丹波でしかできないものづくりを考えていく必要がある。</li> </ul> <p><b>(丹波の人はあったかい。だから住む)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由に人が移動できるようになれば、住む場所を選ぶ基準は「どこ」ではなく「誰と」住むかが重要になる。人の魅力に惹かれる地域。丹波の人はあったかい。困ったら助けてくれる地域。だから住みたいと思ってもらえる地域になる必要がある。</li> </ul> <p><b>(旧町の強みをのばすエリアマネジメントが必要)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば、おばあちゃんの里がある春日は観光を強化するなど、丹波市一律でバランスをとるのではなく、旧町の強みを伸ばすエリアマネジメントが必要である。</li> </ul>					